

「Hello?」

褐色の肌、真つすぐな眉のジョシユア先生が現れる。

「Hello!」

私はアプリコット色の口元を開く。

私がオンライン英会話マグサリタに入会したのは、お母さんがきっかけだった。

「のの花も高校生、健永も中学生になるんだし、私だって自分の時間を楽しまなくっちゃ!」

私と弟、それぞれの卒業式が終わった三月。そう意気込んだお母さんは、パートで貯めたお金でノートパソコンを買った。

「何で新しいパソコン買ったの? お父さんのがあるじゃん」

食卓でつやつや光るノートパソコンを見た私が訊くと、「オンライン英会話を始めるの。だから自分専用のパソコンが欲しかったのよ」

お母さんの表情は、桜の蕾に負けないくらい希望に満ちていた。

「私ね、英会話をマスターしてアメリカに一人旅するのが夢だったの。オンラインなら、時間的にパートや家事と両立できそうだし」

「えっ、そんな夢初めて聞いたんだけど。お母さん、新婚

旅行以来海外行ってないって言ってたじゃん」

頭のなかにそんな夢がしまわれてたなんて。私は半信半疑で、イスに座るお母さんのつむじを見下ろした。

「もう入会したのよ」

お母さんがマウスでクリックすると、パソコン画面にはヤシの木のイラストともに【オンライン英会話 マグサリタ】というカラフルな文字が表示された。

「マグサリタ? これってどういう意味?」

私はまだ知らない英単語かと思って訊くと、

「フィリピンの言葉で『話す』って意味なんですって」

「何でフィリピン?」

「これ見て」

お母さんは【講師一覧】をクリックした。

すると、ホームページにズラツと並ぶ先生たちの顔写真が現れた。その顔立ちや肌の色は、欧米人よりも私たち日本人に近い気が……。

「講師はみんなフィリピン人なのよ」

「え?」

そのとき私の頭に浮かんだのは、中学の英会話の授業で教わっていたグリーン先生だ。アメリカ人の男性だった。

「英会話教室って、アメリカとかイギリスとか、ネイティブの先生じゃないの? フィリピンって東南アジアでしょ?」